

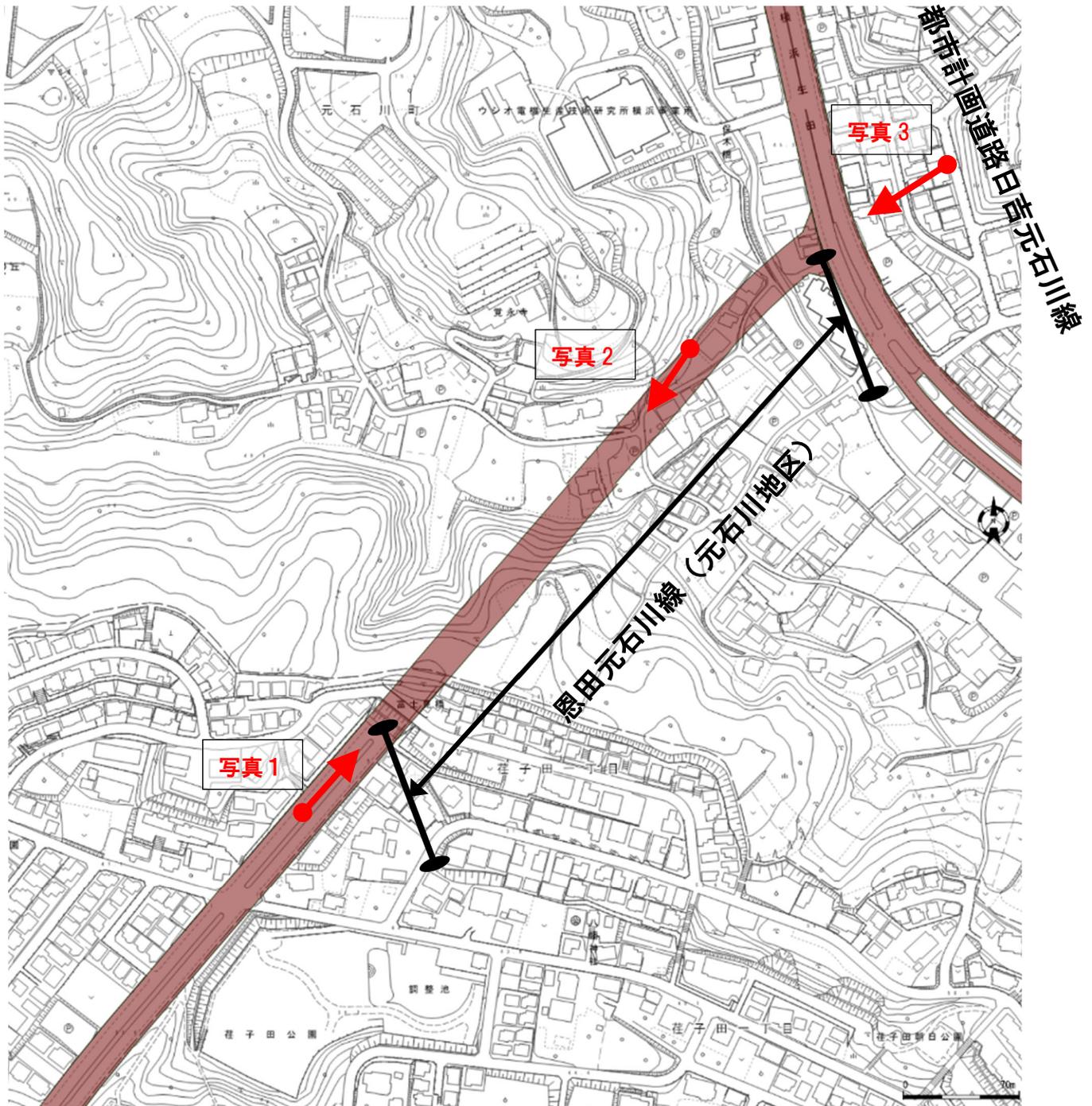
<p>事業の 必要性</p>	<p>1 都市計画道路としての位置付け 当該路線は、平成4年から平成11年にかけて住民参加方式を取り入れ計画案の取りまとめを行い、平成15年に都市計画決定をしています。 「青葉区のまちづくり指針(平成29年9月)」では、区内を格子状に結ぶ骨格道路として位置付けています。</p> <p>2 環境、防災空間としての位置付け 地域の骨格的なネットワークを担う道路として、主に地域で発生・集中する交通を処理するとともに、歩行者の安全性の確保や、災害・緊急時における緊急物資の輸送路や、緊急車両の通行路としての役割を担うなど、総合的な機能を有します。</p> <p>3 地域拠点へのアクセス性向上のための位置付け あざみ野駅をはじめ、たまプラーザ駅や市が尾駅など、区内の地域拠点へのアクセス性向上に寄与します。 また、当該周辺地域で、市営地下鉄3号線の延伸事業に伴い、整備が予定されている^{けんざん}嶮山付近の新駅へのアクセス性向上にも寄与します。</p>
--------------------	--

<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>1 定性的事項</p> <p>(1)アクセス性の向上 当該地区の整備により、区内の幹線道路(横浜上麻生線、日吉元石川線)を東西方向に接続する道路ネットワークの形成に寄与することから、地域拠点へのアクセス性が向上します。</p> <p>(2)安全性の向上 生活道路に入り込んでいる車両の当該路線への転換が期待されるとともに、幅員の広い歩道や自転車通行帯が整備されることによって、歩行者及び自転車が安全で快適に道路利用をすることができます。</p> <p>(3)災害に強い街づくりを促進 沿道周辺には住宅を中心に、学校や病院などが立地していることから、災害・緊急時における緊急物資の輸送路や、緊急車両の通行路としての機能を確保するなど、災害に強い街づくりを促進します。また、整備に併せ、当該区間の無電柱化を実施します。 道路の新設により、新たなライフラインの布設が可能となるなど、発災時の防災力向上にも寄与します。</p>
----------------------------	--

	<p>2 定量的事項（費用便益分析）</p> <p>国土交通省の費用便益分析マニュアル（令和4年）に基づき費用便益比（B/C）を算出しています。</p> <table border="1"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>141 億円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>46 億円</td> </tr> <tr> <td>費用便益比(B/C)</td> <td>3.1</td> </tr> </table> <p>※社会的割引率は4%</p> <p>※便益については、走行時間の短縮、走行経費の減少、交通事故の減少を計上しています。</p> <p>※費用については、道路整備に要する工事費、用地費、補償費、間接経費等を計上しています。</p>	総便益(B)	141 億円	総費用(C)	46 億円	費用便益比(B/C)	3.1
総便益(B)	141 億円						
総費用(C)	46 億円						
費用便益比(B/C)	3.1						
環境への配慮	無電柱化により、防災力・安全性・快適性の向上及び良好な景観形成を図るよう努めます。						
地域の状況等	<p>当該区間については、平成30年度より先行取得路線に位置付け、用地の先行取得を行っています。</p> <p>また、事業については、令和5年の測量実施前に周辺の方々へ周知しています。</p>						
事業手法	公共発注方式によります。						
その他	なし						
添付資料	<p>別紙1 現地の状況（写真）</p> <p>別紙2 標準横断面図</p> <p>別紙3 縦断面図</p> <p>別紙4 先行取得路線</p>						
担当部署	道路局 計画調整部 企画課（Tel 671-2777）						

【別紙1】

現地の状況（写真）



航空写真





写真 1



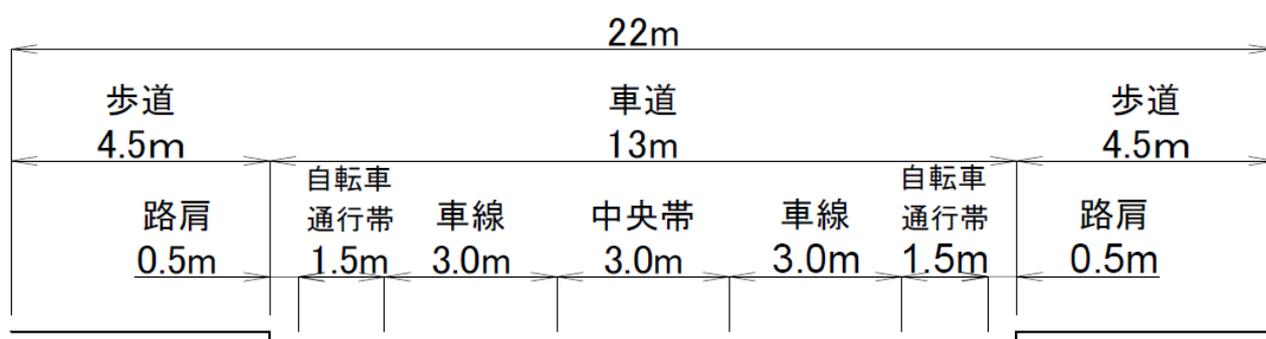
写真 2



写真 3

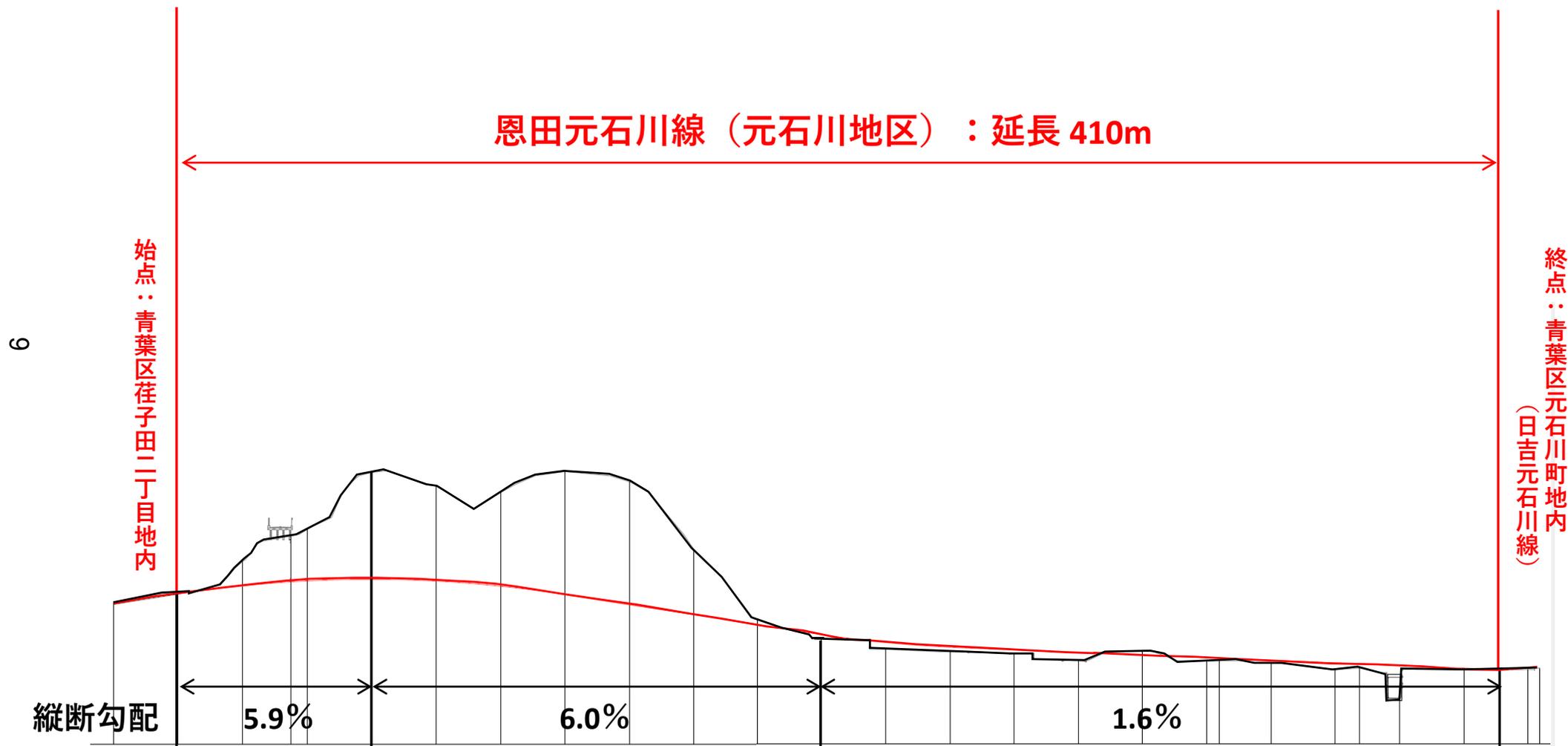
【別紙2】

標準横断面図



※今後変更になる場合があります。

縦断図



都市計画道路事業用地の先行取得路線

事業用地の先行取得については、以下の10路線18地区を対象とします。

なお、これらの路線は、新たに事業化が図られた段階で、先行取得路線から除外されます。

路線名	地区名	延長
鴨居上飯田線	さが丘地区、上菅田・新井地区、西川島地区	2.2 km
環状3号線	汲沢2地区、汲沢中田地区、和泉中田地区、阿久和地区、ニツ橋地区	7.7 km
横浜藤沢線	下倉田・本郷台地区、飯島地区	2.7 km
恩田元石川線	元石川地区	0.4 km
環状4号線	上郷地区	1.4 km
新吉田中川線	早渕勝田地区	0.9 km
中山北山田線	中山地区	0.6 km
横浜逗子線	六浦地区	0.6 km
東京丸子横浜線	箕輪地区、樽町・太尾地区	2.4 km
大田神奈川線	西寺尾地区	0.8 km
合計		19.7 km

